

世界各地の富士

各地の人々が地元の山を富士山に見立てる風習には長い歴史があります。富士山の名声と富士信仰により、浅間神社を祀る山は、たとえその規模や形状が実物と似つかなくても富士と名付けられることがよくありました。このような山は「郷土富士」と呼ばれます。例として、地域の名称を冠した「尾張富士」（愛知県の犬山）や「美濃富士」（岐阜県の浅間山）が挙げられます。

より後の時代、特に 1868 年の明治維新後には、富士山と雪に覆われた特徴的なその山頂に姿形が似ている山が富士と名付けられることが一般的になりました。北海道の利尻島を形成する円錐形の火山「利尻富士」は、富士山と見た目が似ている郷土富士の一例です。

アメリカ・ワシントン州では、地元の日本人コミュニティが母国を懐かしみ、レーニア山を日本のシンボルである富士山に見立てて「タコマ富士」と名付けました。

今日、海外の十数山を含めた何百もの郷土富士が存在します。このフロアの壁の円形パネルは、これらの郷土富士を紹介しており、それぞれの名前の由来である富士山から見た方角に配置されています。